平成20年10月31日

各 位

上場会社名　株式会社ヒガシマル
代表者　代表取締役社長 東　紘一郎
（コード番号　2058）
問合せ先責任者　管理部長 上野　善博
（TEL　099-273-3859）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月23日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

（単位：百万円）

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,587	238	242	157	33.36
今回発表予想(B)	5,000	282	297	104	22.23
増減額(B-A)	413	43	55	△52	―――
増減率(%)	9.0	18.1	23.1	△33.4	―――
（ご参考）前期第2四半期実績（平成20年3月期第2四半期）	4,141	186	216	199	42.37

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,399	243	253	168	35.89
今回発表予想(B)	4,860	344	393	192	40.87
増減額(B-A)	461	100	139	23	―――
増減率(%)	10.5	41.2	54.9	13.9	―――
（ご参考）前期第2四半期実績（平成20年3月期第2四半期）	4,141	186	216	199	42.37

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、個別において水産事業はハマチ飼料類及びマダイ飼料類の販売量が伸び、食品事業は即席麺類、機械そうめん類及び皿うどん類の販売量が伸びたことから当初の予想を上回りました。

また、営業利益及び経常利益は、個別の業績に連動するもので、原材料等の値上がりにより材料コストは上昇しましたが、生産量の増大により生産コスト及び販売コストが低く抑えることができたため、当初の予想を上回りました。

しかしながら、海外子会社が営業開始初年度ということで、ヒガシマルブランドを浸透させるためにエビ飼料の販売価格を抑えたことと、販売代理店及び養殖業者を獲得するための販売活動費の増加などコスト増により、当初に見込んだ営業損失が増加したことから、四半期純利益は当初の予想を下回りました。

個別業績は、上記の理由等により、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも当初の予想を上回りました。

なお、通期の連結・個別業績予想につきましては、現在集計中であり、平成20年3月期第2四半期決算発表時に改めてお知らせいたします。

※　上記の予想は、本資料の発表時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上